

# アララン・ギルバートと 都響メンバーによる 弦楽五重奏

世界的指揮者がヴィオラで参加  
首席奏者たちと共演する五重奏の夜

モーツァルト:

弦楽五重奏曲 第3番 八長調 K.515

ドヴォルザーク:

弦楽五重奏曲 第3番 変ホ長調 Op.97

ヴァイオリン: 矢部達哉(ソロ・コンサートマスター)、四方恭子(ソロ・コンサートマスター)

ヴィオラ: アラン・ギルバート(首席客演指揮者)、鈴木 学(ソロ首席奏者)

チェロ: 古川展生(首席奏者)

2019年12月15日(日)19:00開演(18:30開場)

**● 浜離宮朝日ホール** 〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階  
都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ TEL.03-5541-8710

全席指定(税込): 5,500円 チケット発売日 2019年7月17日(水)10:00~

■お申し込み・お問い合わせ

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990(日・祝除く10:00~18:00)

朝日ホール・チケットセンター 検索

都響ガイド 0570-056-057(土日祝除く 平日10:00~18:00) <https://www.tmsu.or.jp>

ほか イープラス、びあ(Pコード:156-451)、ローソンチケット(Lコード:35356)

※やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる可能性があります。曲目・出演者の変更に伴う払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。  
※未就学児の入場不可。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約)0120-788-222



世界的指揮者がタクトをヴィオラに持ち替え、  
都響の主要メンバーと音を重ねる特別な一夜。  
今回はモーツァルト、ドヴォルザークの弦楽五重奏で  
深いコミュニケーションを聴く!



©TAISUKE OGAWA



©Peter Hundert

アラン・ギルバート(ヴィオラ=指揮者)

Alan GILBERT (Viola=Conductor)

2017年まで8シーズンにわたりニューヨーク・フィル音楽監督を務め、在任中に2つの現代音楽シリーズ「CONTACT!」「NY PHIL BIENNIAL」を立ち上げるなど、芸術性を広げる活動が高く評価された。ベルリン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管などへ定期的に客演、メトロポリタン歌劇場などオペラ公演へ登場、またジュリアード音楽院で指揮科とオーケストラ科のディレクターを務めるなど、活動は多岐にわたる。現在、ロイヤル・ストックホルム・フィル桂冠指揮者。2018年4月より都響首席客演指揮者、2019年9月よりNDRエルプフィル首席指揮者に就任。



©T. Taira date

矢部達哉(ヴァイオリン)

Tatsuya YABE (Violin)

1968年東京生まれ。桐朋学園ティプロマコース修了後、90年22歳の若さで東京都交響楽団のソロ・コンサートマスターに抜擢される。97年、NHK「めぐり」のテーマ演奏で大きな反響を呼ぶ。

室内楽、ソロでも活躍し、小澤征爾、若杉弘、フルネ、クレ、テプリースト、インバル、ベルティーニ等の著名指揮者と共演。

2009年、音楽の友4月号では、読者の選んだ“私の好きな国内オーケストラのコンサートマスター”で1位に選ばれ、2016年文藝春秋2月号で「日本を元気にする逸材125人」の一人に選ばれている。

95年第5回出光音楽賞、平成8年度村松賞、96年第1回ホテルオークラ音楽賞受賞。ソニークラシカル、オクタヴィア・レコードよりCDが発売されている。



©T. Taira date

四方恭子(ヴァイオリン)

Kyoko SHIKATA (Violin)

神戸生まれ。東京芸術大学在学中に、第47回NHK毎日音楽コンクール入選。ドイツ国立フライブルク音楽大学に留学し、ヴォルフガング・マルシュナー氏に師事。1982年シュポア国際ヴァイオリンコンクール第1位。1990年から2003年までケルン放送交響楽団第1コンサートミストレスとして活躍。ヨーロッパや国内のオーケストラとソ

リストとして共演。2002年から2018年まで「アフィニス夏の音楽祭」音楽監督。2005年より兵庫芸術文化センター管弦楽団コンサートマスター、2009年9月より東京都交響楽団ソロ・コンサートマスター。2009年11月兵庫県文化賞を受賞。現在、京都市立芸術大学教授。



©T. Taira date

鈴木 学(ヴィオラ)

Manabu SUZUKI (Viola)

桐朋学園大学を卒業後、DAADドイツ文化交流会奨学生としてハンブルク国立音楽大学に留学。93~04年、オーストリーのリンツ・ブルックナー管弦楽団の首席ヴィオラ奏者を務める。04年4月に帰国。現在東京都交響楽団ソロ首席奏者。ルツェルン音楽祭(スイス)、サンガト音楽祭(インド)、サンタフェ室内楽音楽祭(アメリカ合衆国)等数々の音楽祭にソリスト、室内楽奏者として招かれるなど国際的活躍を続けている一方、プロツホのヴィオラ組曲(コンチェルト版)、エロードのヴィオラ協奏曲等を日本初演するなどヴィオラの作品を積極的に紹介している。インディアナ大学等に招かれマスタークラスを行う他、桐朋学園オーケストラアカデミー、MMCJ等にて後進の指導にも精力的にあたっている。



©T. Taira date

古川展生(チェロ)

Nobuo FURUKAWA (Cello)

桐朋学園大学卒業。チェロを故・井上頼豊、秋津智承、林峰男の各氏に師事。

1995年第64回日本音楽コンクールチェロ部門第2位入賞。96年、ハンガリーのリスト音楽院に留学。97年第27回マルクノイキルヘン国際コンクール(ドイツ)チェロ部門にてティプロマ賞受賞。98年帰国後、東京都交響楽団首席チェロ奏者に就任、現在に至る。

2003年第2回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。11年第31回藤堂顕一郎音楽褒賞受賞。13年第31回京都府文化賞受賞。10年より、桐朋学園大学にて、非常勤講師として勤務。

ソリストとして国内外のオーケストラ、著名指揮者と多数共演しているほか、ソロリサイタル、室内楽の活動を展開。他ジャンルアーティストとのコラボレーションでも活躍を続け、映画「おくりびと」ではテーマ曲のソロ演奏を担当。2007年には、藤原道山(尺八)、妹尾武(ピアノ)とのユニット「KOBUDO - 古武道 -」を結成。新たな音楽の創造を目指し演奏・制作活動を展開中。

■古川展生サイト：<http://nobuofurukawa.com>

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階 TEL:03-5541-8710



- 交通のご案内
- ◎[築地市場駅] 都営大江戸線(A2出口)すぐ
  - ◎[築地駅] 東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分
  - ◎[東銀座駅] 都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
  - ◎[汐留駅] 都営大江戸線(新橋駅方面改札口) / 新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
  - ◎[新橋駅] JR(汐留口) / 東京メトロ銀座線(1,2番出口) / 都営浅草線(改札口)より徒歩約15分